

機械器具（25） 医療用鏡
管理医療機器 硬性腹腔鏡（JMDNコード：12291000）
（硬性胸腔鏡（JMDNコード：35398000））
（内視鏡用ビデオカメラ（JMDNコード：35958000））
特定保守管理医療機器

da Vinci シリーズエンドスコープ

**（da Vinci Xi サージカルシステム用/da Vinci X サージカルシステム用）

**【警告】

1. テーブルモーション使用時を除き、da Vinci Xi サージカルシステム（承認番号：22700BZX00112000）またはda Vinci X サージカルシステム（承認番号：23000BZX00090000）が患者に接続されている状態では、いかなる場合でも絶対に手術台を動かさないこと。[患者に重篤な損傷を与えるおそれがあるため。]

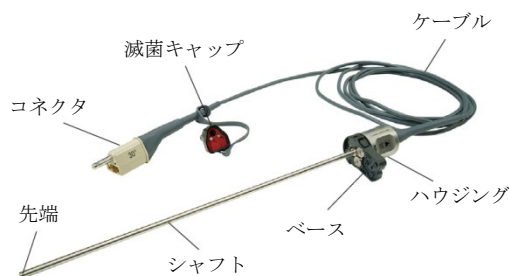
【形状・構造及び原理等】

1. 構成

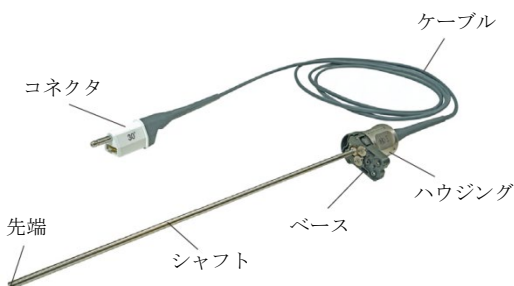
本品の構成品は以下のとおりである。

- ・8mm Xi ステレオエンドスコープ 0°
- ・8mm Xi ステレオエンドスコープ 30°

*滅菌キャップあり



*滅菌キャップなし



原材料：ステンレス、ガラス、エポキシ樹脂

<寸法及び重量>

有効長：543mm（±10%）

**2. 原理

光源を発する機器から出力された光が本品のライトポートを介して伝達され、先端部のライトウィンドウから術野に照射される。また、本品先端部のディスタルウィンドウから入射した術野からの反射光が光学画像としてカメラヘッド接続部へ伝達される。カメラヘッドから送信される電子信号を画像信号処理回路でカラー及び光質の補正・強調の画像処理を行い、ビデオ信号に変換して出力する。da Vinci Xi サージカルシステム及び da Vinci Xi サージカルシステム、da Vinci X サージカルシステムについては近赤外光を光源として本品を使用することが可能である。

【使用目的又は効果】

体内、管腔、体腔又は体内腔に挿入し、体内、管腔、体腔又は体内腔の観察、診断、撮影又は治療に用いるための画像を提供すること。

【使用方法等】

本品を使用する際は、事前に本品と併用する機器等の添付文書および取扱説明書を熟読すること。

1. 使用方法

(1) 使用前に、本添付文書に従い洗浄及び滅菌済みであることを確認する。【【保守・点検に係る事項】の項参照】

** (2) 「da Vinci Xi サージカルシステム」または「da Vinci X サージカルシステム」及び併用する機器の添付文書及び取扱説明書に従い、システムを準備する。

** (3) 本品に異常がないことを確認後「da Vinci Xi サージカルシステム」または「da Vinci X サージカルシステム」に接続する。光源の入出力を確認する。

(4) 使用後、取り外した本品に異常がないか確認し、洗浄及び滅菌を行い、適切に保管する。【【保守・点検に係る事項】の項参照】

** 2. 組み合わせて使用する医療機器

本品は「販売名：da Vinci Xi サージカルシステム 承認番号：22700BZX00112000」または「販売名：da Vinci X サージカルシステム（承認番号：23000BZX00090000）」と併用して使用する。その他の本品と組み合わせて使用可能な医療機器や併用医療機器については、「da Vinci Xi サージカルシステム用/da Vinci X サージカルシステム用」を使用し、取扱説明書等にて最新の情報を確認すること。

3. 使用方法等に関連する使用上の注意

(1) 可燃性麻酔ガス、高濃度酸素及び笑気ガス（N₂O）のような酸化物質雰囲気内では使用しないこと。[爆発又は火災が発生するおそれがあるため。]

* (2) 使用準備が整った患者体内に設置していないエンドスコープは、スコープウォーマーを使用すること。なお、スコープウォーマーは、55℃を超える温度で使用しないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 目に損傷を与えるため、光源を直視しないこと。
- (2) ステレオエンドスコープは落下又は衝撃で破損することがあるため、細心の注意を払って取り扱うこと。
- (3) エンドスコープがエンドスコープコントローラに接続されている場合、スコープを温めるなどして、長時間にわたって高温をかけないこと。エンドスコープに損傷を与える原因となる。
- (4) エンドスコープコントローラがオンの間、長時間カニューーラ内部にエンドスコープの先端（遠位 25mm）を収めたままにしないこと。カニューーラに過度の熱が発生するおそれがある。
- (5) エンドスコープケーブルは慎重に取り扱うこと。折り曲げると内部の光ファイバーに損傷を与え、伝送される光量が大幅に減少するおそれがある。
- (6) 使用中は本品の先端部と皮膚、組織、衣服等との接触を避けること。[本品の先端部は高温になることがあり、皮膚、組織等に損傷を与

取扱説明書を必ずご参照ください。

え、先端部への組織の付着により光の照射が妨げられるおそれがあるため。]

2. 不具合・有害事象

- (1) 重大な不具合
 - ・先端部の破損
 - ・ケーブルの破損
 - ・動作不良
- (2) 重大な有害事象
 - ・出血
 - ・熱傷
 - ・感染
 - ・術式移行
 - ・再入院

【保管方法及び有効期間等】

1. 高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管すること。
2. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
3. 損傷のリスクを防ぐため、本品を X 線、放射線又は強い電磁波にさらされる場所（マイクロ波治療器具、短波治療器具、MRI、無線電信機の付近等）には保管しないこと。
4. 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等がない場所に保管すること。
5. 洗浄及び滅菌後、本品が入っていた元の箱に保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項
 - (1) 使用前の点検

併用するシステムの添付文書及び取扱説明書に従い、本品の表面、先端部及びライトポート、光の伝達に異常がないことを確認し、異常が見られた場合には使用を中止すること。
 - (2) 推奨する洗浄方法
 - ・本品の先端部の取り扱いには十分に注意すること。ディスタルウィンドウ（レンズ）に無理な力を加えたり、鋭い器具等で洗浄したりしないこと。
 - ・本品を超音波洗浄しないこと。[本品を破損させるおそれがあるため。]
 - *1) 滅菌キャップありの場合は、滅菌キャップをはずし、内部を清拭・乾燥後、再び滅菌キャップをしっかりと取り付ける。
 - 2) エンドスコープおよびエンドスコープケーブルを酵素洗浄液に完全に浸漬する。
 - 3) 柔らかいブラシを使ってこすり洗った後、流水で十分にすすぐ。
 - 4) レンズに水滴が残ることを防止するため、柔らかいリントフリーの布で本品を拭いて完全に乾燥させる。
 - 5) エンドスコープに残留物及び損傷がないか確認すること。
 - (3) 推奨する滅菌方法
 - ・推奨する滅菌方法及び滅菌パラメータ等は洗浄・滅菌方法説明書を参照のこと。
 - ・ステレオエンドスコープは高圧蒸気滅菌で滅菌しないこと。[高温や急激な温度変化により、エンドスコープを破損させるおそれがあるため。]
2. 業者による保守点検事項

定期的に有資格の担当者による保守点検を受けること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：インテュイティブサージカル合同会社

*電話：0120-56-5635

製造業者：INTUITIVE SURGICAL, INC

国名：アメリカ合衆国